

WHEN WE ARE KINGS P.17

Roger De Vlaeminck, Felice Gimondi, Francesco Moser... 一人一ページ、大きめのフォントで書かれたまるで哲学者の金言のようなオールドレーサーたちの言葉とそれぞれに年若い彼らのポートレイト。

BARNES AND LAWS BIG ADVENTURE P.34

“Hanna Burnes Criterium” とは London Nocturne につけられた別名。若干 21 歳のスプリンター Hanna Burnes, 2013 年レース中の事故で大けがを負ったもののご復帰、のみならず Tour In Britain で山岳王に輝いた不屈のクライマー Sharon Laws, その二人に先駆け US のウィメンズロードレースシーンへ身を投げ現在はプロチーム United Healthcare のディレクターをつとめる Rachel Heal. 三人の英国人女性それぞれのプロフェッショナリズム。

VOYEUR P.53

Column by Johnny Green

POSTCARDS FROM THE GIRO P.55

初めてのグランツール、初めての Giro 'd Italia。Tinkoff-Saxo の若き Chriss Juul-Jensen に課せられた Rouleur からのお題は Giro 'd Italia の日々を Postcard に書いて送ること。ステージが進むにつれポストカードはゼッケンやケーキの包み紙、サイクルキャップやグローブへとその姿を変え、猫やハミガキ粉の話からレースの興奮や後悔の思いまでを綴る、誰も読んだことのない Giro 'd Italia 記。

HOTEL MALPERTUUS - A LOVE AFFAIR P.78

ベルギーのホテル Malpertuus はロードレースファンが頻りに訪れるホテル。オーナーの Yvo Molenaers は 60 年代に活躍した元レーサーで妻や子供たちとホテルの 2 階に住んでいる。その娘 Danielle の夫は現在 BMC レーシングのディレクターをつとめるイタリア人の元レーサー。孫の Valerie は大学生。この話はロードレーサーとその妻との愛の物語であり普遍的な家族の形への考察である。

PRO-NESS P.97

Column by Matt Seaton

LITESPEED P.98

かつてグランツールを走るレーサーが所属チームのロゴとカラーに塗り替えた Litespeed で走るほどに信頼されたアメリカンバイクブランド Litespeed。創業者 David Lynsky とともに開発を手がけ現在も最新スペックのカーボンバイクに情熱を燃やす Brad Devaney。創業者 Lynsky が去ったあと増え続けた返品の結果失ってしまった信頼を取り戻し、会社をサイクリストの手にも取り戻した現 CEO Peter Hurley。過去の数々のエピソードや二人のインタビューから Litespeed とは何なのか? を導きだします。

DAVE RAYNER P.120

イタリアでのジュニア時代には Mario Cippolini と競い合いシニアとしても母国イギリスやアメリカのチームで活躍した Dave Rayner。1994 年ナイトクラブでの突然の死のあと設立された Dave Rayner Fund はプロを目指す若きロードレーサーを支援するファンドとしてこれまで 20 年間に David Millar をはじめ多くの才能を支援してきました。この記事を書いている Tom Southam もその一人。大人になり再び Dave Rayner について考えたときそこには家族や友人そしてコミュニティが彼の命を現在もつないでいました。

WORKING THE LINE P.146

Column by Robert Millar

